

# 令和元年度 事業報告

## I 事業概要

少子高齢化の進展により、長野県高齢化率は31.9%（令和元年10月現在）となり、全国を上回る水準で高齢化が進んでいます。生産年齢人口の減少と併せ高齢化の急激な進展が、地域社会や産業の担い手不足に繋がり、地域活力の低下を招くことが懸念されています。

このような状況の中で今後も地域の活力を維持し、人生100年時代を見据えた多様な生き方を可能とするためには、高齢者が地域の担い手として年齢に関わりなく活躍し続けることができる社会づくりの促進が不可欠となっています。

このような中、国では主要政策プランに高齢者の就業促進を掲げ、高齢者に個々人の意欲・能力に応じ、「支えられる側」から「社会の支え手」としての活躍を期待しています。

平成27年度から実施しているシルバー派遣事業は5年目を迎え、元年度においては市の福祉企業センターや給食センターの運搬などの業務を新たに受注するなど、契約額も年を追うごとに増え、元年度は対前年比24%増の3,260万円の実績となりました。

また、従来からの請負による業務においては、派遣に移行する業務に加えて、少雪による雪下ろし作業の受注減などの要因もあり、前年度を大幅に下回る結果になってしまいました。会員数が伸び悩む一方、会員の就業ニーズの多様化等により、就業の依頼があってもそれに十分応えられない状況も発生しています。新たな発注先の開拓とともに会員増加への取り組みを強化することが重要です。

平成28年度から取り組みを始めた高齢者活用・現役世代雇用サポート事業は、この事業の趣旨である人手不足分野や現役世代を支える分野での就業促進のため、引き続き派遣コーディネーターを配置し、就業機会の拡大に努めました。また、高齢者活躍人材確保育成事業では、長野県シルバー人材センター連合会の協力を得て「シニア世代の暮らしのセミナー」と「観光ガイド体験七福神めぐり」の2つの講座を開催し、センターのPRと会員の増加に努めました。

このような中で、今年度の契約額は特に下半期に受注が大幅に落ち込む状況となりました。3月末における契約総額は2億0303万円となり、過去最高の実績を記録した前年度を下回る結果になりましたが、当センターが毎年目標としている2億円には達することができたことは会員各位の地道な日々の就業の積み重ねの結果であり、また発注者の皆様や市・村を始め国・県のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

今後さらに、会員の就業マナーや資質の向上を図るとともに、より一層信頼されるシルバー人材センターとなるよう役員及び会員が一丸となって事業の推進に取り組んでいきたいと考えています。

## II 事業実施報告

### 1. 就業機会提供事業

#### (1) 受託事業

令和元年度は、剪定、冬囲い、草刈り、清掃、農作業などの単発的な業務が若干増えましたが、請負から派遣への移行や、雪下ろし作業の受注が少なかったことなどが影響し、全体としては前年度に比べ大幅な減となりました。

#### (2) 労働者派遣事業

平成27年度から開始したシルバー派遣事業は、従前からの受注に加え、元年度においては市の福祉企業センターや給食センターの運搬、移動図書館車の運転、木島平村地籍調査事業補助などの業務を新たに受注しました。

#### (3) 独自事業

##### ① 正月飾り製作販売

しめ縄づくり・販売事業では、5名の会員にて、しめ縄257本、門松146対を製作販売しました。

製作する会員の高齢化により後継者の確保が課題となっていることから、しめ縄づくり講習会を開催し9名の参加がありました。今後も講習会を継続し後継者育成につなげていくとともに、職群班として活動ができるよう組織の充実を図っていきたいと考えています。

##### ② アンテナショップ「シルバーしろかね」での販売

「シルバーしろかね」は旧飯山駅観光案内所に設け、4月から11月までの間、会員が交代で店番を務め、定休日なしで営業しました。

令和元年度から「観光案内業務」を飯山市から委託され、従来より飯山商工会議所から委託されている「七福の鐘」の管理とあわせ、飯山の観光案内に一役買うことができました。

来客数は延3,175人。売上額は約56万円で、前年度実績を大きく上回りました。

#### (4) 指定管理事業

引き続き、飯山市屋内運動場の指定管理事業を受託しました。

### 2. 就業機会確保・雇用サポート事業

#### (1) 安全・適正就業事業の推進

① 安全・適正就業対策推進の重点目標を「危険ゼロ」と定め、具体的取組みとして、「安全ミーティングの完全実施」、「安全装備使用の徹底」、「健康診断受診及び健康体操の奨励」、「交通事故防止」を掲げ取り組みを行いました。

除草、剪定、冬囲い作業の現場で安全パトロールを実施し、安全ミーティングの推進、会員の事故防止に努めました。

② 安全・適性就業に係る標語の募集では14点の応募があり、県連合会の審査で当センター会員の作品が「佳作」に入選しました。

③ 松本市で開催された長野県シルバー人材センター連合会主催「安全・適正就業推進大会」には5名が参加し、安全就業への取り組みについて研修しました。標語入選者の表彰もあわせて行われました。

④ 事故発生状況

今年度は、傷害事故が8件、損害賠償事故が3件、交通事故が3件発生しました。

【事故発生内容】

| 区 分      | 件数 | 内 容   |
|----------|----|---|
| 傷害事故     | 8  | 蜂刺され（保険対象）2件<br>バイクでの就業途上で転倒・骨折（保険対象）<br>自転車での就業途上で転倒・頭部打撲（重篤事故）<br>就業中での捻挫（保険対象1件、派遣先1件）<br>熱中症（見舞金対象）2件 |
| 賠償責任事故   | 3  | 草刈り作業中に壁を破損<br>派遣先で製品落下により破損（派遣先事業所負担）  |
| 交通事故（物損） | 3  | 自損事故（派遣先事業所負担）  |

⑤ 中野自動車学校に安全運転適性講習会を委託し、座学・実技による法令遵守、運転評価、検査機による運転適性検査等について、運転業務に就業している会員23名が受講しました。

⑥ 適正就業検討委員会を開催し、ローテーション就業の取り組み等、会員の適正就業を推進しました。

⑦ 会員向け情報紙「かわら版」で、事故防止等の注意喚起を行いました。

(2) 普及啓発事業の推進

① シルバー祭り、木島平村民祭、シルバーしろかねにおいて、宣伝チラシや啓発用品を配布し、普及啓発に努めました。

② 会報「シルバー飯山地域」第26号を発行し飯山市・木島平村の広報誌とともに全戸配布しました。

また会員募集チラシの新聞折り込み、北信濃新聞、北信ローカル新聞、飯山市・木島平村の広報誌に会員募集の広告を掲載して会員拡大に努めました。

③ シルバー人材センターを地域の皆様に広く知っていただくため、各地域において除草や清掃作業などボランティア活動を実施しました。

【ボランティア活動実施状況】

| ボランティア実施場所   | 作業内容  | 令和元年度 | 平成30年度 | 平成29年度 |
|--------------|-------|-------|--------|--------|
| 飯山市屋内運動場（7月） | 除草    | 34人   | 雨天中止   | 25人    |
| 飯山市屋内運動場（9月） | 除草    | 37人   | 33人    | 47人    |
| 各地区活性化センター   | 除草、清掃 | 76人   | 61人    | 61人    |
| 木島平村社協       | 除草    | 24人   | 29人    | 32人    |
| 合 計          |       | 171人  | 123人   | 165人   |

### (3) 就業開拓提供事業

- ① 9月から10月において、官公庁・民間事業所等を訪問し、シルバー人材センター事業の理解を得るとともに、就業機会の確保と新規受注開拓に努めました。
- ② 入会説明会を毎月第二水曜日に開催しました。7月と3月には木島平村でも開催して会員の拡大に努めました。
- ③ 女性会員拡大事業として、10月に「多肉植物アレンジメント講習会」を開催し、9名の参加がありました。  
年間では56名の新規入会者があり、うち21名が女性会員の入会でした。
- ④ 各職群班において研修会を開催し、スキルアップと後継者育成に努めました。

#### 【各職群班実績・研修会】

| 班名     | 受注件数 | 延べ日人員  | 契約金額    | 研修会                   |
|--------|------|--------|---------|-----------------------|
| 観光ガイド班 | 1件   | 63人    | 123千円   | 小諸市へ観光ガイド研修           |
| 庭木整姿班  | 266件 | 741人   | 6,144千円 | 屋内運動場周辺にて<br>須坂市へ視察研修 |
| 冬囲い班   | 448件 | 1,345人 | 7,272千円 | 屋内運動場周辺にて             |
| 除雪班    | 19件  | 71人    | 247千円   |                       |

### (4) 会員研修会の開催

昨年度に引き続き、未受講者、新入会員及び会員を中心に、「マナー研修会」を開催し31名の会員が受講し、就業マナーや守秘義務などについて研修しました。

今回はこれまで一度も受講されていない会員にDM（ハガキ）を出すなど参加を促しましたが、受講者は少なく残念な結果となりました。

### (5) 調査研究事業の推進

理事・監事の役員で、新潟県柏崎市シルバー人材センター視察し、「会員拡大の取り組み・アンテナショップの運営」等について研修しました。

### (6) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業

人手不足分野や現役世代を支える分野での就業促進のため、派遣コーディネーターを配置し、請負・委任になじまない就労を派遣事業への切り替えを進め、さらに就業の機会を拡大するための取り組みを行いました。

## 3. 高齢者活躍人材確保育成事業

県シルバー人材センター連合会の協力を得て高齢者活躍人材確保育成事業を2講座開催し、センターのPRと会員増加に努めました。

7月「シニア世代の暮らしのセミナー」26名受講

9月「観光ガイド体験七福神めぐり」9名受講

## 4. 組織運営体制と財政基盤の強化

(1) 理事会は12回開催しました。

【理事会開催状況】

| 期 日            | 議事事項・主な協議事項  |
|----------------|--|
| 第89回<br>4月26日  | 正会員の入会承認について<br>平成30年度事業報告及び収支決算報告の承認について<br>令和元年度定時総会について<br>表彰規程に基づく被表彰者の承認について<br>大型連休の対応について |
| 第90回<br>5月30日  | 正会員の入会承認について<br>顧問の選任について<br>定時総会の運営について   |
| 第91回<br>5月30日  | 専務理事の選定について<br>安全就業部会員並びに安全委員会委員の選任について  |
| 第92回<br>6月18日  | 正会員の入会承認について<br>第3期中期計画策定委員会設置要綱の制定について<br>各部会の年間計画について<br>ボランティア活動について                          |
| 第93回<br>7月25日  | 正会員の入会承認について<br>市・村への要請活動について<br>会員拡大事業について<br>高齢者活躍人材確保育成事業について                                 |
| 第94回<br>8月21日  | 正会員の入会承認について<br>事業所訪問について<br>地域班会議の実施について  |
| 第95回<br>9月20日  | 正会員の入会承認について<br>地域班役員会議の実施について   |
| 第96回<br>10月23日 | 正会員の入会承認について<br>執行理事の職務執行状況について<br>事業所訪問の結果について<br>会員マナー研修会について                                  |
| 第97回<br>11月20日 | 正会員の入会承認について<br>令和2年度受注単価見積基準について<br>地域班会議の開催結果について<br>公益法人の収支相償について                             |
| 第98回<br>12月18日 | 正会員の入会承認について<br>役員改選にともなう役員候補者の内申について<br>令和2年度定時総会について<br>会員拡大推進月間について                           |
| 第99回<br>2月19日  | 正会員の入会承認について<br>各部会の令和元年度事業報告・令和2年度事業計画について<br>シルバーしろかねの運営について                                   |

|       |  |
|-------|--|
| 第100回 | 正会員の入会承認について                             |
| 3月24日 | 令和2年度事業計画及び収支予算について<br>第3期中期5ヵ年計画の承認について |

- (2) 自治体からの運営費補助の限度額確保のため、飯山市、木島平村への支援要請を行いました。
- (3) 連絡員会議を6月に開催し、地域班会議は、10月～11月に10地区で開催し、136名の出席がありました。会員、役員、事務局との情報交換を行い、会員のシルバー人材センター事業への意識高揚に努めるとともに、会員の意見や要望を事業運営に反映させることに努めました。
- (4) 第3期中期5ヵ年計画を策定し、令和2年度から6年度までの5ヵ年における指針をまとめました。
- (5) 会員による「1人1会員入会運動」を推進し、今年度入会された会員（56名）のうち22名が会員の紹介によるもので、成果を得ることができました。
- (6) 会員相互の親睦を深めるため、会員互助会への支援を行いました。